



FUKUOKA KAISEI GIRLS'
HIGH SCHOOL
2026.06



6月のご挨拶

教頭

鶴田 葉月



6月は、色鮮やかに咲くあじさいと、雨に濡れた木々の緑に彩られてキャンパス全体が輝くようです。令和8年度もスタートして早や3カ月目に入り、定期考査や学校行事が順調に進む中、今号で体育会について写真とともに詳しくお知らせできることをうれしく思います。体育会の開催当日は、平日にもかかわらず、多数ご参観下さりありがとうございました。今年度の体育会は、FBS福岡放送のニュース番組で朝夕特集され、大きな反響がありました。

また、5月20日には聖母月の宗教朝礼を行っています。本学院では聖母マリアの生き方について3年間を通して深く学び、生徒が小さなマリアとなることを目標としておりますので、聖母月の宗教行事は最も大切にしています。今年度は、2011年3月11日に発生して今年で15年となる東日本大震災を大きなテーマとし、復興と支援の詳細をたどりながら、カトリック校である本校が被災地にどう心を寄せていくか、確認する時間となりました。

開設2年目となる学びの多様化学校ブライトコースは、今年、念願だった「文化庁主催 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業 芸術家の派遣」対象校に選ばれました。5月20日～22日の期間、東京在住の演出家わたなべなおこ氏を中心に、地元演劇グループのスタッフがサポートしての演劇プロジェクトを開催しました。多くの生徒は演劇の経験がなく、初日こそ戸惑いもありましたが、講師から具体的で細かいアドバイスを受けつつ取り組むうち、最終日には一人ひとりに与えられた役柄に沿って、見事な発表を披露することができました。

創立以来、「世界とつながる海星」として地域に知られる本校にとって、今年度最初の国際交流は、6月23日、シンガポールの姉妹校「Hai Sing Catholic School」の来校です。歓迎行事では、本校バトン部が、バトントワリング世界大会1位となったメンバーを擁して演技を披露するのを始め、吹奏楽部による演奏、ダンス部のスペシャルステージ、国際教養コース2年生による学校紹介・福岡紹介など、全校挙げて旅行団を歓迎します。各クラスで、日本とシンガポールの高校生たちが友情を深め、多くの思い出を作って高校時代の宝物の一つにしてくれることを期待しています。

6月、カトリック教会では聖人をお祝いする記念日が数多く定められていますが、中でも、聖アントニオは、探し物の聖人として親しまれています。私たちが身近な探し物や、心の中にある長い間気になっている探し物に悩むようなとき、毎日を誠実に過ごしながら聖アントニオのご加護を願っていただければと思います。

保護者の皆様におかれましては、5月29日保護者後援会役員会、6月6日保護者後援会総会にお越しく下さいまして、ありがとうございました。今年度も、本校の教育に一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。いよいよ今年度も、一日体験・出前授業・オープンキャンパス・部活動体験会など広報活動が本格的に始まりました。来て見て体験するのが、本校を知っていただく一番の手段です。お知り合いの中学生や、ご近所の方に、ぜひ福岡海星女子学院高等学校をお勧めくださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

体育会

「輝煌～最高の笑顔で大きな飛躍と感動を～」

体育科より ～体育会を終えて～

4月6日始業式、そして7日入学式から新年度がスタートし、約1か月間の練習期間を経て、今年度も「最高の体育会」が私たちの心に刻まれました。日本一早い開催、日本一美しい体育会となったことを誇りに思います。生徒会長の西塔さんを中心とした生徒会、体育会実行委員長の竹下さんを中心とした体育委員、入場行進を引っ張った吹奏楽部の演奏、応援団など・・・、全てにおいて、生徒主体の体育会でした。「今年の体育会が一番楽しかったです!!」との声を多くいただきました。全校生徒と教員に加え、会場にお越しくくださった方が、体育会の成功を喜んでくださったことに心から感謝いたします。

子どもたちの力は無限大です。一人一人の輝きが1つの光となったときに現れる景色と感情を生徒たちは決して忘れないでしょう。そしてその光は他者を励まし、幸せにします。

生徒たちが、日々かけがえのない瞬間を生きていることを神様に感謝し、これからも多くの実りがあることを祈ります。

ありがとうございました。

体育会担当・体育科主任 森 香織



初めて経験する海星の体育会でした。

初めは、この短い期間でどのように仕上げでどのような体育会になるのだろうと楽しみながら不安な気持ちがありました。

トラブルなどありながらもその度にリーダーたちの顔つきが変わり、それぞれの団がまとまっていきました。いろいろな表情、様々な感情を見せながら成長していく生徒に感動しました。

体育科・岩崎 日香

体育会実行委員長として、「かけがえのない思い出を作っていこう」と頑張るみんなと一緒に取り組むことができ、幸せでした。応援団員としても、学年を超えて毎日の練習に励み、全員で一つの演舞を作りあげることができたのはとても貴重な思い出です。

体育会に、前向きに、常に全力で取り組むことができました。最高に楽しかったです。

体育会実行委員長・竹下 来実

「輝煌～最高の笑顔で大きな飛躍と感動を」というスローガンのもと、全校生徒が一丸となって体育会を成功させることができました。見に来てくださっているすべての方々に、大きな感動を与えることができたと思います。

そして一人ひとりが海星での体育会を通して、大きく成長し、最高の仲間と共に、涙と笑顔で終わることができました。すべてが私にとって何よりの喜びです。

生徒会長・西塔 このみ



白団

はじめは不安なことばかりでしたが、白団のみんなが積極的に協力してくれました。一人一人が懸命に競技へと向かう姿を見て、私自身も元気と自信をもらいました。みんなで優勝を勝ち取ることができ、本当に楽しく、最高の体育会になったと思います。

白団のみんなが大好きです。本当にありがとうございました。

白団団長・天野 日和

ダンス長として振り付けや構成を考え、団のみんなで一つの作品を作り上げていく中で、大変さ以上に楽しさを感じました。何度も練習を重ね、本番でみんなが楽しそうに踊っている姿を見て嬉しかったです。

優勝という結果も残せて、このメンバーだからこそ最高の演技を作り上げることができたと思います。

ありがとうございました。

白団ダンス長・森園 彩花



赤団

私は、今年の体育会は大いに成功したと思います。

一人ひとりが楽しかったと思える体育会にすることを目標として赤団を率いましたが、解団式でそれを達成できたと感じたからです。今回の体育会をきっかけに、これからは様々なことに意欲的に取り組んでいきましょう!

短い期間でしたが、ありがとうございました。

赤団団長・堀 星伶奈

ダンス長として指示を出したり、赤団全体を動かしたりすることはとても難しく、悩んだり、落ち込んだりすることもありました。

だけど、周りのみんながいつも私を助けてくれて、

1人ではできないことでもみんなとなら絶対にできると思って取り組みました。

目標だった優勝は逃したけれど、みんなと同じ気持ちで全力で取り組んだことや、終わったあとみんなとたくさん泣いたことなど、全部が忘れられない大切な思い出です!

赤団ダンス長・林 ゆりな



2026年度 聖母月の集い

今年も東日本大震災から15年目の節目の年です。生徒たちが幼い頃に起こった大震災ですが、震災のこと、またこの震災を通して前に進んでいかれた方々のことを知り、そしていまだ苦しむ被災者のために、一人ひとりがマリア様を通して祈りを神様にお捧げしました。

5月は聖母月、聖母マリア様に捧げられた月です。私たちは模範である聖母マリア様に倣い、日々を過ごしております。5月20日、「聖母月の集い」が行われました。



【奉納】



【シスター入江ご講話「マリア様のこころ」】



【祈り】



【聖歌歌唱】

苦しんでいる友のため、悩んでいる友のため、私たちは寄り添い、祈りを捧げ続けていきます。

私たちもマリア様のこころに想いを馳せ、マリア様のようになれることを願い求める聖母月の集いになりました。

演劇コミュニケーション講座 (ブライコース)

令和8年5月20日(水)・21日(木)・22日(金)の3日間、アジジハウスで、ブライコース演劇コミュニケーション講座を行いました。NPO法人PAVLICの講師の先生方から、コミュニケーション不安を解消するヒントとして、演劇を通して自己理解・他者理解・自己表現の効果的な方法を教えて頂きました。自己紹介やトランプを通じて他者とつながり、3日目には、カードに書かれたセリフを基に、自分たちでストーリーを考え、緊張しながらもクラスの仲間の前で演じました。温かい空間で勇気を出すことができ、チームでまた一歩進むことができました。



Schedule of events (June)

6/16	火	上級学校バス見学会 (1A・2A)
6/17	水	講堂朝礼 立候補者立会演説会 生徒会長選挙
6/23	火	シンガポールハイシン高校来校 キッチンカーデー
6/24	水	講堂朝礼 内科健診 (全学年)
6/29~ 7/2	月~ 木	期末考査
7/17	金	終業日